



CHAPTER 13

ユニキャスト ルーティング show コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチで使用できる Cisco NX-OS ユニキャストルーティング **show** コマンドについて説明します。

show bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show bgp** コマンドを使用します。

```
show bgp {all | ipv4 {unicast | multicast} [addr | prefix [longer-prefixes]] [vrf vrf-name | all]}
```

構文の説明

all	すべてのアドレス ファミリについて、BGP 情報を表示します。
ipv4	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<i>addr</i>	(任意) 選択したアドレス ファミリからのネットワーク。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>prefix</i>	(任意) 選択したアドレス ファミリからのプレフィクス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

BGP に関する情報を表示するには、**show bgp** コマンドを使用します。
このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP テーブルのエントリを表示する例を示します。

```
switch# show bgp ipv4 multicast
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Multicast
BGP table version is 5, local router ID is 2.2.2.3
Status: s-suppressed, x-deleted, S-stale, d-dampened, h-history, *-valid, >-best
Path type: i-internal, e-external, c-confed, l-local, a-aggregate, r-redist
Origin codes: i - IGP, e - EGP, ? - incomplete, | - multipath

      Network          Next Hop          Metric      LocPrf      Weight Path
-----
192.168.1.3          0.0.0.0              100         32768 i
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear bgp</code>	BGP テーブルのエントリをクリアします。

show bgp community

コミュニティと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show bgp community** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ip | ipv4} {unicast | multicast}} community [as-number]no-advertise]
[no-export] [no-export-subconfed] [exact-match]} [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
ipv4	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
as-number	(任意) AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> 形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
no-advertise	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
no-export	(任意) no-export コミュニティを表示します。
no-export-subconfed	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、コミュニティと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch# show bgp ip multicast community no-advertise
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	コミュニティ リストを作成します。

show bgp community-list

コミュニティ リストと一致する BGP ルートを表示するには、**show bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ip | ipv4}} {unicast | multicast} community-list commlist-name
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
ipv4	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<i>commlist-name</i>	コミュニティ リストの名前。 <i>commlist-name</i> には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
<i>exact-match</i>	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、コミュニティ リストと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast community-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	コミュニティ リストを作成します。

show bgp extcommunity

拡張コミュニティと一致する BGP ルートを表示するには、**show bgp extcommunity** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ip | ipv4} {unicast | multicast}} extcommunity 4byteas-generic
{non-transitive | transitive} [as4-number] [exact-match] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
ipv4	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
4byteas-generic	汎用特定拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
non-transitive	非推移的拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
transitive	推移的拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
as4-number	AS 番号。 <i>as4-number</i> は、プレーンテキスト整数または <上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> の形式の 32 ビット整数です。
exact-match	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) コンテキスト名を指定します。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、拡張コミュニティと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast extcommunity 4byteas-generic transitive 1.3:30
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip extcommunity-list	拡張コミュニティ リストを作成します。

show bgp extcommunity-list

拡張コミュニティ リストと一致する BGP ルートを表示するには、**show bgp extcommunity-list** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ip | ipv4}} {unicast | multicast}} extcommunity-list commlist-name
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
ipv4	IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
<i>commlist-name</i>	拡張コミュニティ リストの名前。 <i>commlist-name</i> には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
<i>exact-match</i>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、コミュニティ リストと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show bgp ipv4 unicast extcommunity-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip extcommunity-list	拡張コミュニティ リストを作成します。

show bgp neighbors

BGP ネイバーを表示するには、**show bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show bgp {ip | ipv4} {unicast | multicast} neighbors [addr [advertised-routes |
flap-statistics | paths | received-routes | routes [advertised | dampened | received]]]
[vrf {all | vrf-name}]
```

構文の説明

ip	IPv4 ネイバー情報を表示します。
ipv4	IPv4 ネイバー情報を表示します。
unicast	ユニキャスト ネイバー情報を表示します。
multicast	マルチキャスト ネイバー情報を表示します。
addr	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
advertised-routes	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
flap-statistics	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
paths	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
received-routes	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
routes	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
advertised	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
dampened	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンピングされたルートを表示します。
received	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	すべての VRF を指定します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、BGP ネイバーを表示する例を示します。

```
switch(config)# show bgp ip unicast neighbors
```


関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ip bgp neighbors</code>	IPv4 BGP 情報を表示します。

show bgp sessions

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) セッションを表示するには、**show bgp sessions** コマンドを使用します。

show bgp sessions [*vrf vrf-name*]

構文の説明

vrf vrf-name (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP セッションを表示する例を示します。

```
switch# show bgp sessions
Total peers 2, established peers 0
ASN 102
VRF default, local ASN 102
peers 2, established peers 0, local router-id 2.2.2.3
State: I-Idle, A-Active, O-Open, E-Established, C-Closing, S-Shutdown

Neighbor      ASN      Flaps LastUpDn|LastRead|LastWrit St Port(L/R)  Notif(S/R)
10.0.0.100    64497 0      01:31:58|never  |never  I  0/0         0/0
192.168.1.3   0 0      00:03:25|never  |never  I  0/0         0/0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear bgp	BGP セッションをクリアします。

show bgp statistics

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) トラフィック 統計情報を表示するには、**show bgp statistics** コマンドを使用します。

show bgp statistics

構文の説明

このコマンドには引数やキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP トラフィック 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show bgp statistics

Neighbor aggregated statistics (sent/received)
Msgs          Bytes          Opens          Updates
-----
0/0           0/0           0/0           0/0

Keepalives    Notifications  Route-refresh  Capabilities
-----
0/0           0/0           0/0           0/0

BGP I/O Information
Active Open attempts      : 0
Passive Open attempts     : 0
BGP I/O Open loops        : 117
BGP I/O Open calls        : 0
BGP I/O Open rcv calls    : 0
BGP I/O Send calls        : 0
BGP I/O Recv calls        : 0
BGP I/O Write calls       : 0
BGP I/O Write loops       : 1
BGP I/O Write loop yields : 0
BGP I/O Read calls        : 0
BGP I/O Read loops        : 117
BGP I/O Read loop yields  : 0
BGP I/O process nlri yields : 0
```

■ show bgp statistics

```

BGP I/O process withdraw yields      : 0
BGP Read time exceeded                : 0
BGP Update send pending              : 0
BGP Update buffer not available       : 0
BGP Update walk suspended            : 0
BGP Yielded in updates                : 0
BGP Yielded in packing                : 0
BGP No sendbuf for peer               : 0
BGP No withdraw buf for peer         : 0
BGP Yields in update peer loop       : 0
No updates pending or no buffers     : 1
No data to write                      : 1
Msg queue recv errors                 : 0
Sockets create/accept/close          : 2/0/0
Sockets create retries/failures      : 0/0
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear bgp	BGP セッションをクリアします。

show forwarding

転送情報を表示するには、**show forwarding** コマンドを使用します。

```
show forwarding [ip | ipv4] {adjacency | interfaces | route | trace [clear] | table id | pss |
route} [module slot] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	(任意) IPv4 転送情報を表示します。
ipv4	(任意) IPv4 転送情報を表示します。
adjacency	隣接関係情報を表示します。
interfaces	モジュール上のインターフェイスの転送情報を表示します。
route	モジュール上のルートの転送情報を表示します。
trace	モジュール上の転送トレース バッファを表示します。
clear	(任意) モジュール上の転送トレース バッファをクリアします。
table id	ルート テーブルの転送情報を表示します。id の範囲は 0 ~ 2147483647 です。
pss	永久ストレージからのルート情報を表示します。
route	IP ルーティング テーブルからのルート情報を表示します。
module slot	(任意) モジュールに関する情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show forwarding** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show forwarding** コマンドを使用できます。

例

次に、モジュール 2 の転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding route module 2
```

■ show forwarding

関連コマンド

コマンド	説明
show ip fib	FIB に関する情報を表示します。

show forwarding distribution

転送分散情報を表示するには、**show forwarding distribution** コマンドを使用します。

show forwarding distribution [clients | fib-state]

構文の説明

clients	(任意) ユニキャストクライアントの転送分散情報を表示します。
fib-state	(任意) ユニキャスト転送情報ベース (FIB) の転送分散ステートを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ユニキャストクライアントの転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding distribution clients
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip fib distribution	FIB に関する分散情報を表示します。

show forwarding inconsistency

転送不一致チェッカーの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

show forwarding inconsistency [ip | ipv4] [unicast] module slot [vrf vrf-name]

構文の説明

ip	(任意) IPv4 転送不一致情報を表示します。
ipv4	(任意) IPv4 転送不一致情報を表示します。
unicast	(任意) ユニキャスト ルートの転送不一致情報を表示します。
module slot	モジュールの不一致情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの不一致情報を表示します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

test forwarding inconsistency コマンドの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

例

次に、モジュール 2 の転送不一致情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding inconsistency module 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear forwarding inconsistency	転送不一致チェッカーをクリアします。
test forwarding inconsistency	転送不一致チェッカーをトリガーします。

show hsrp

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループごとの HSRP 情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。

```
show hsrp [interface {ethernet slot/port | port-channel number | vlan vlan-id}] [group group-number] [active | init | listen | standby] [all] [brief] [detail] [ipv4]
```

構文の説明

interface	(任意) HSRP 情報を表示するためのインターフェイスを指定します。
ethernet slot/port	イーサネットインターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel number	EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
vlan vlan-id	VLAN インターフェイスを指定します。範囲は 1 ~ 4094 です。
group group-number	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します。範囲は 0 ~ 4095 です。
active	(任意) Active ステートである HSRP グループを表示します。
init	(任意) Initialization ステートである HSRP グループを表示します。
listen	(任意) Listen ステートである HSRP グループを表示します。
standby	(任意) Standby ステートである HSRP グループを表示します。
all	(任意) すべての HSRP グループを表示します。
brief	(任意) 1 行の出力で各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダの要約を示します。
detail	(任意) HSRP グループに関する詳細情報を表示します。
ipv4	(任意) HSRP IPv4 グループを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

HSRP グループに関する情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。**brief** キーワードは、各仮想ゲートウェイまたは仮想フォワーダに関する情報を 1 行で表示します。

認証を設定していない場合は、**show hsrp** コマンドにより次の文字列が表示されます。

```
Authentication text "cisco"
```

これは、[RFC 2281](#) で定義されている HSRP のデフォルトの動作です。

```
If no authentication data is configured, the RECOMMENDED default value is 0x63 0x69 0x73 0x63 0x6F 0x00 0x00 0x00.
```

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

例

次に、HSRP に関するデフォルト情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp
Vlan1 - Group 1 (HSRP-V1) (IPv4)
  Local state is Active, priority 150 (Cfgd 150), may preempt
  Forwarding threshold(for vPC), lower: 1 upper: 150
  Preemption Delay (Seconds) Reload:300
  Hellotime 3 sec, holdtime 10 sec
  Next hello sent in 0.793000 sec(s)
  Virtual IP address is 10.1.1.3 (Cfgd)
  Active router is local
  Standby router is unknown
  Authentication text "cisco"
  Virtual mac address is 0000.0c07.ac01 (Default MAC)
  17 state changes, last state change 1w0d
  IP redundancy name is hsrp-Vlan1-1 (default)
...
```



(注)

前述の例の認証文字列は、インターフェイスに認証が設定されていないことを表します。

次に、HSRP 情報の簡単なサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show hsrp brief
          P indicates configured to preempt.
          |
Interface  Grp Prio P State  Active addr  Standby addr  Group addr
Vlan1      1   150 P Active  local        unknown       10.1.1.3      (conf)
Vlan2      2   150 P Active  local        unknown       10.1.2.3      (conf)
...
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature hsrp	HSRP 機能をイネーブルにします。

show hsrp delay

ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) グループの遅延情報を表示するには、**show hsrp delay** コマンドを使用します。

```
show hsrp delay [interface {ethernet slot/port | port-channel number[.sub_if_number] |
vlan vlan_id}] [group group-number] [all] [brief]
```

構文の説明

interface	(任意) HSRP 情報を表示するインターフェイス タイプおよび番号を指定します。
ethernet slot/port	(任意) イーサネット インターフェイスを指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel number	(任意) EtherChannel インターフェイスを指定します。EtherChannel 番号の範囲は 1 ~ 4096 です。
sub_if-number	(任意) サブインターフェイス番号。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
vlan vlan-id	(任意) VLAN インターフェイスを指定します。範囲は 1 ~ 4094 です。
group group-number	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します。範囲は 0 ~ 4095 です。
all	(任意) すべての HSRP 情報を指定します。
brief	(任意) 簡単な HSRP 情報を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

例

次に、HSRP の遅延情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp delay
-----
Interface      Minimum  Reload
-----
Eth1/5         30      0
switch#
```

■ show hsrp delay

関連コマンド

コマンド	説明
delay minimum	HSRP グループの遅延情報を設定します。
feature hsrp	HSRP 機能をイネーブルにします。
hsrp delay	HSRP グループの遅延情報を設定します。

show hsrp summary

HSRP グループごとの HSRP サマリー情報を表示するには、**show hsrp summary** コマンドを使用します。

show hsrp summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

例

次に、HSRP 情報のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show hsrp summary

HSRP Summary:

Extended-hold (NSF) disabled
Global HSRP-BFD disabled

Total Groups: 1
  Version::   V1-IPV4: 1       V2-IPV4: 0       V2-IPV6: 0
             State::   Active: 0       Standby: 0       Listen: 0
             State::   V6-Active: 0     V6-Standby: 0     V6-Listen: 0

Total HSRP Enabled interfaces: 1

Total Packets:
  Tx - Pass: 0       Fail: 0
  Rx - Good: 0

Packet for unknown groups: 0

Total MTS: Rx: 25

switch#
```

■ show hsrp summary

関連コマンド

コマンド	説明
feature hsrp	HSRP 機能をイネーブルにします。
hsrp	HSRP グループを設定します。

show ip adjacency

隣接情報を表示するには、**show ip adjacency** コマンドを使用します。

```
show ip adjacency [ip-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary]
[vrf vrf-name | all | default | management]
```

構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用してサポートされているインターフェイスタイプを特定します。
detail	(任意) 詳細な隣接関係情報を表示します。
non-best	(任意) 最適な、および最適でない隣接関係情報を表示します。
statistics	(任意) 隣接関係統計情報を表示します。
summary	(任意) 隣接関係情報のサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF エントリの隣接関係統計情報を表示します。
default	(任意) デフォルト VRF の隣接関係統計情報を表示します。
management	(任意) 管理 VRF の隣接関係統計情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show ip adjacency {statistics | detail} コマンドの出力内のカウンタ値は、スーパーバイザ モジュールのスイッチオーバー後に作成されます。

例

次に、隣接情報のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip adjacency summary

IP Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 1
Address          MAC Address      Pref Source      Interface
2.2.2.100       000a.000a.000a  1   Static         Ethernet1/2
switch#
```

■ show ip adjacency

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show forwarding adjacency</code>	転送隣接関係情報を表示します。

show ip adjacency summary

IP 隣接サマリーを表示するには、**show ip adjacency summary** コマンドを使用します。

show ip adjacency summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、IP 隣接サマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip adjacency summary
I
IP AM Table - Adjacency Summary

  Static   : 1
  Dynamic  : 0
  Others   : 0
  Total    : 1

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip arp timeout	ARP を設定します。

show ip arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 情報を表示するには、**show ip arp** コマンドを使用します。

```
show ip arp [ip-addr | {ethernet slot/port | loopback if_number | mgmt mif_number |
port-channel number}] [client] [static] [statistics] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
ethernet <i>slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイスを指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
loopback <i>if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
mgmt <i>mif_number</i>	(任意) 管理インターフェイスを指定します。管理インターフェイス番号は 0 ~ 1023 です。
port-channel <i>number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
client	(任意) ARP クライアント テーブルを表示します。
static	(任意) スタティック ARP エントリを表示します。
statistics	(任意) ARP 統計情報を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ARP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp

Flags: D - Static Adjacencies attached to down interface

IP ARP Table for context default
Total number of entries: 1
Address      Age      MAC Address      Interface
2.2.2.100    -        000a.000a.000a   Ethernet1/2
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip arp	スタティック ARP エントリを設定します。

show ip arp summary

ARP 隣接サマリーを表示するには、**show ip arp summary** コマンドを使用します。

show ip arp summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ARP 隣接サマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip arp summary

IP ARP Table - Adjacency Summary

  Resolved   : 0
  Incomplete : 0
  Unknown    : 0
  Total      : 0

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip arp timeout	ARP を設定します。

show ip bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) テーブルのエントリを表示するには、**show ip bgp** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ip-addr | ip-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regexp expression]
[route-map map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのネットワーク。形式は x.x.x.x です。
<i>ip-prefix</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのプレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
received-paths	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
regexp <i>expression</i>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
route-map <i>map-name</i>	(任意) ルート マップと一致するルートを表示します。マップ名には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
summary	(任意) ルートのサマリーを表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ルーティング テーブルを表示する例を示します。

```
switch(config-router)# show ip bgp
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip bgp	BGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ip bgp all

すべてのアドレス ファミリのボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) エントリを表示するには、**show ip bgp all** コマンドを使用します。

```
show ip bgp all [ip-addr | ip-prefix [longer-prefixes]] [filter-list list-name]
[community-list commlist-name [exact-match]] [flap-statistics] [nexthop-database]
[received-paths] [regexp expression][route-map map-name] [summary] [vrf
{vrf-name | all}]
```

```
show ip bgp all community [comm-name] [{internet | no-advertise | no-export |
no-export-subconfed}] [exact-match] [vrf {vrf-name | all}]
```

```
show ip bgp all extcommunity 4byteas-generic {non-transitive | transitive}
[as4-number] [exact-match] [vrf {vrf-name | all}]
```

```
show ip bgp all dampening {dampened-paths [regexp expression] | flap-statistics |
history-paths [regexp expression] | parameters} [vrf {vrf-name | all}]
```

```
show ip bgp all neighbors [ip-addr [advertised-routes | flap-statistics | paths |
received-routes | routes [advertised | dampened | received]]] [vrf {vrf-name | all}]
```

構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのネットワーク。形式は x.x.x.x です。
<i>ip-prefix</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのプレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスとより詳しいルートを表示します。
filter-list	(任意) フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。
<i>list-name</i>	フィルタ リストの名前。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
community-list <i>commlist-name</i>	(任意) コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <i>commlist-name</i> には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
flap-statistics	ルートのフラップ統計情報を表示します。
nexthop-database	(任意) BGP ネクスト ホップ データベースを表示します。
received-paths	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
regexp expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
route-map map-name	(任意) ルート マップと一致するルートを表示します。マップ名には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
summary	(任意) ルートのサマリーを表示します。
community <i>community-number</i>	コミュニティ リストと一致する BGP ルートを表示します。 (任意) コミュニティ番号。有効値は 1 ~ 4294967200 のコミュニティ番号、または AA:NN (自律システム コミュニティ番号/2 バイト番号)。
no-export	(任意) 同じ自律システム内のピアへのみ、または連合内の他のサブ自律システムへのみアドバタイズされる、このコミュニティのルートを表示します。

no-advertise	(任意) (内部または外部の) どのピアにもアドバタイズされないルートを表示します。
no-export-subconfed	(任意) 既知のコミュニティ no-export-subconfed に属するルートを表示します。
internet	(任意) 既知のコミュニティ internet community に属するルートを表示します。
extcommunity	拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
4byteas-generic	(任意) 汎用特定拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
non-transitive	(任意) 非推移的拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
transitive	(任意) 推移的拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
as4-number	(任意) AS 番号。 as4-number は、プレーンテキスト整数または <上位 16 ビットの 10 進数><下位 16 ビットの 10 進数> の形式の 32 ビット整数です。
exact-match	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
dampening	すべてのダンプニング情報を表示します。
dampened-paths	(任意) すべてのダンプニングされたパスを表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
history-paths	(任意) 履歴パスをすべて表示します。
parameters	(任意) ダンプニング パラメータをすべて表示します。
neighbors	すべての BGP ネイバーを表示します。
advertised-routes	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
flap-statistics	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
paths	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
received-routes	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
routes	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
advertised	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
dampened	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンプニングされたルートを表示します。
received	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。 name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての予約済み VFR 名を指定します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

■ show ip bgp all

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、すべてのアドレスファミリの BGP エントリを表示する例を示します。

```
switch# show ip bgp all
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Multicast
BGP table version is 5, local router ID is 2.2.2.3
Status: s-suppressed, x-deleted, S-stale, d-dampened, h-history, *-valid, >-best
Path type: i-internal, e-external, c-confed, l-local, a-aggregate, r-redist
Origin codes: i - IGP, e - EGP, ? - incomplete, | - multipath

      Network          Next Hop          Metric      LocPrf      Weight Path
-----
192.168.1.3/2         0.0.0.0
                        100          32768 i
switch#
```

次に、BGP ルート テーブルのステータスのサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip bgp all summary
BGP summary information for VRF default, address family IPv4 Multicast
BGP router identifier 2.2.2.3, local AS number 102
BGP table version is 5, IPv4 Multicast config peers 2, capable peers 0
1 network entries and 1 paths using 104 bytes of memory
BGP attribute entries [1/124], BGP AS path entries [0/0]
BGP community entries [0/0], BGP clusterlist entries [0/0]

Neighbor      V    AS MsgRcvd MsgSent  TblVer  InQ  OutQ  Up/Down  State/PfxRcd
-----
10.0.0.100    4 64497      0      0        0    0    0 03:20:10 Idle
192.168.1.3   4    0      0      0        0    0    0 01:51:38 Idle
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip bgp	BGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ip bgp community

コミュニティリストと一致するボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ルートを表示するには、**show ip bgp community** コマンドを使用します。

```
show ip bgp community {community-number} [{internet | no-advertise | no-export |
no-export-subconfed}] [vrf {vrf-name | all}]
```

構文の説明

community-number	コミュニティ番号。有効値は 1 ~ 4294967200 のコミュニティ番号、または AA:NN (自律システム コミュニティ番号/2 バイト番号)。
internet	既知のコミュニティ internet community に属するルートを表示します。
no-advertise	(内部または外部の) どのピアにもアドバタイズされないルートを表示します。
no-export	同じ自律システム内のピアへのみ、または連合内の他のサブ自律システムへのみアドバタイズされる、このコミュニティのルートを表示します。
no-export-subconfed	既知のコミュニティ no-export-subconfed に属するルートを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての予約済み VRF を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、201 BGP コミュニティに属するルートを表示する例を示します。

```
switch# show ip bgp community 201
```

次に、非アドバタイズ BGP コミュニティおよびすべての VRF に属するルートを表示する例を示します。

```
switch# show ip bgp community no-advertise
```

■ show ip bgp community

関連コマンド

コマンド	説明
set community	BGP コミュニティの属性を設定します。
show ip bgp community-list	BGP コミュニティ リストによって許可された BGP ルートを表示します。
show ip bgp community exact-match	指定されたものとまったく同じ BGP コミュニティを持つルートを表示します。

show ip bgp community exact-match

特定のボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) コミュニティと一致するルートを表示するには、**show ip bgp community exact-match** コマンドを使用します。

show ip bgp community *community-number* exact-match [vrf {all | *vrf-name*}]

構文の説明

<i>community-number</i>	コミュニティ番号。有効値は 1 ~ 4294967200 のコミュニティ番号、または AA:NN (自律システム コミュニティ番号/2 バイト番号)。
exact-match	指定されたものとまったく同じコミュニティを持つルートのみを表示します。
all	(任意) すべての予約済み VRF を指定します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、指定されたものとまったく同じ BGP コミュニティを持つルートを表示する例を示します。

```
switch# show ip bgp community 201 exact-match
```

関連コマンド

コマンド	説明
set community	BGP コミュニティの属性を設定します。
show ip bgp community	コミュニティリストと一致する BGP ルートを表示します。
show ip bgp community-list	BGP コミュニティリストによって許可された BGP ルートを表示します。

show ip bgp community-list

BGP コミュニティリストによって許可されたボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ルートを表示するには、**show ip bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] community-list commlist-name
[exact-match]} [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
all	すべてのアドレス ファミリについて、BGP 情報を表示します。
community-list <i>commlist-name</i>	コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <i>commlist-name</i> には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、コミュニティ リストと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp community-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	コミュニティ リストを作成します。

show ip bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ダンプニング情報を表示するには、**show ip bgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] dampening {dampened-paths [regex
expression] | flap-statistics | history-paths [regex expression] | parameters} [vrf
vrf-name]
```

構文の説明

ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を表示します。
all	すべてのアドレス ファミリについて、BGP 情報を表示します。
dampened-paths	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
flap-statistics	ルートのフラップ統計情報を表示します。
history-paths	履歴パスをすべて表示します。
parameters	ダンプニング パラメータをすべて表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、ダンプニング情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp dampening dampened-paths
```

関連コマンド

コマンド	説明
address-family (BGP ルータ)	BGP パラメータを設定します。
dampening (BGP)	ルートフラップ ダンプニングを設定します。

show ip bgp extcommunity

拡張コミュニティと一致する BGP ルートを表示するには、**show ip bgp extcommunity** コマンドを使用します。

```
show ip bgp extcommunity generic {non-transitive | transitive} [as4-number]
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

generic	汎用特定拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
non-transitive	非推移的拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
transitive	推移的拡張コミュニティと一致するルートを表示します。
as4-number	(任意) AS 番号。 <i>as4-number</i> は、プレーンテキスト整数または <上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> の形式の 32 ビット整数です。
exact-match	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、拡張コミュニティと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp extcommunity generic transitive 1.3:30
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip extcommunity-list	拡張コミュニティ リストを作成します。

show ip bgp extcommunity-list

拡張コミュニティリストと一致する BGP ルートを表示するには、**show ip bgp extcommunity-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp extcommunity-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>commlist-name</i>	拡張コミュニティリストの名前。 <i>commlist-name</i> には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
<i>exact-match</i>	(任意) 拡張コミュニティの完全一致を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、コミュニティリストと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp extcommunity-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip extcommunity-list	拡張コミュニティリストを作成します。

show ip bgp filter-list

フィルタ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>list-name</i>	フィルタリストの名前。63 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、フィルタ リストと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp filter-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
filter-list	BGP ピアに対する自律システム (AS) パス フィルタを割り当てます。
show ip bgp all	すべてのアドレス ファミリについて、BGP エントリを表示します。

show ip bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) フラップ統計情報を表示するには、**show ip bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
show ip bgp flap-statistics [vrf vrf-name]
```

構文の説明	vrf vrf-name (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。				
コマンドデフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
コマンド履歴	<table border="1"><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>5.0(3)N1(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。				
例	次に、フラップ統計情報を表示する例を示します。 <pre>switch(config)# show ip bgp flap-statistics</pre>				
関連コマンド	<table border="1"><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>clear bgp flap-statistics</td><td>BGP ルート フラップ統計情報をクリアします。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	clear bgp flap-statistics	BGP ルート フラップ統計情報をクリアします。
コマンド	説明				
clear bgp flap-statistics	BGP ルート フラップ統計情報をクリアします。				

show ip bgp neighbors

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネイバーを表示するには、**show ip bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip bgp neighbors [addr [advertised-routes | flap-statistics | paths | received-routes
| routes [advertised | dampened | received]]] [vrf {all | vrf-name}]
```

構文の説明

<i>addr</i>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
advertised-routes	(任意) このネイバーにアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
flap-statistics	(任意) このネイバーから受信されたルートのフラップ統計情報を表示します。
paths	(任意) このネイバーから取得された AS パスを表示します。
received-routes	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
routes	(任意) このネイバーとの間で受信またはアドバタイズされたルートを表示します。
advertised	(任意) このネイバー用にアドバタイズされたすべてのルートを表示します。
dampened	(任意) このネイバーから受信されたすべてのダンピングされたルートを表示します。
received	(任意) このネイバーから受信されたすべてのルートを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ネイバーを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp neighbors
```

関連コマンド

コマンド	説明
neighbor	BGP ネイバーを設定します。

show ip bgp nexthop

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ネクスト ホップ情報を表示するには、**show ip bgp nexthop** コマンドを使用します。

```
show ip bgp nexthop addr [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>addr</i>	IPv4 アドレス。形式は、x.x.x.x です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ネクスト ホップ情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp nexthop 192.0.2.1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip bgp neighbors	BGP ネイバー情報を表示します。

show ip bgp nexthop-database

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ データベースを表示するには、**show ip bgp nexthop-database** コマンドを使用します。

show ip bgp nexthop-database [vrf vrf-name]

構文の説明

vrf vrf-name (任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ネクスト ホップ データベースを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp nexthop-database
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip bgp neighbors	BGP ネイバー情報を表示します。

show ip bgp paths

データベース内のすべてのボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) パスを表示するには、**show ip bgp paths** コマンドを使用します。

show ip bgp paths

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、データベースの BGP パスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp paths
Address      Hash Refcount      Metric Path
0x5a5e46bc 2001                1          0 i
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
maximum-paths	ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) がサポートできるパラレル ルートの最大数を制御します。
show ip bgp	BGP テーブル情報を表示します。
show ip bgp neighbors	BGP ネイバー情報を表示します。

show ip bgp peer-policy

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア ポリシー テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-policy** コマンドを使用します。

show ip bgp peer-policy name

構文の説明

<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。63 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
-------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ピア ポリシーを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-policy test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
inherit peer-policy	ネイバーのピア ポリシー テンプレートを継承します。
template peer-policy	ピア ポリシー テンプレートを設定します。

show ip bgp peer-session

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア セッション テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-session** コマンドを使用します。

show ip bgp peer-session *name*

構文の説明

<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。63 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
-------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ピア セッションを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-session test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
inherit peer-session	ネイバーのピア セッション テンプレートを継承します。
template peer-session	ピア セッション テンプレートを設定します。

show ip bgp peer-template

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-template** コマンドを使用します。

show ip bgp peer-template *name*

構文の説明

<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
-------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ピア テンプレートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-template peer1
```

関連コマンド

コマンド	説明
inherit peer-template	ネイバーのピア テンプレートを継承します。
template peer	ピア テンプレートを設定します。

show ip bgp prefix-list

プレフィクスリストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp prefix-list** コマンドを使用します。

show ip bgp prefix-list *list-name* [**exact-match**] [**vrf** *vrf-name*]

構文の説明

<i>list-name</i>	プレフィクスリストの名前。commlist-name には、大文字と小文字が区別される最大 63 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、プレフィクスリストと一致するルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp prefix-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
maximum-prefix	BGP ネイバーから受信できるプレフィクス数を制御します。

show ip bgp received-paths

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ピアから受信したルートを表示するには、**show ip bgp received-paths** コマンドを使用します。

show ip bgp received-paths [*vrf vrf-name* | **all**]

構文の説明

vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ピアから受信したルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp received-paths
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip bgp neighbors	BGP ネイバー情報を表示します。

show ip bgp route-map

BGP テーブルからのボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ルート マップを表示するには、**show ip bgp route-map** コマンドを使用します。

```
show ip bgp route-map route-map-name [vrf vrf-name | all]
```

構文の説明

<i>route-map-name</i>	ルート マップ名
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP テーブルからの BGP ルート マップを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp route-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
route-map	ルート マップを作成します。
clear ip bgp	BGP テーブルから BGP ルートをクリアします。

show ip bgp summary

すべてのボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) 接続のステータスを表示するには、**show ip bgp summary** コマンドを使用します。

show ip bgp summary [vrf vrf-name | all]

構文の説明

vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP 接続のステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip bgp summary
```

関連コマンド

コマンド	説明
maximum-prefix	BGP ネイバーから受信できるプレフィクス数を制御します。
router bgp	ルータに自律システム (AS) 番号を割り当てます。

show ip client

内部 IP クライアントに関する情報を表示するには、**show ip client** コマンドを使用します。

show ip client [*name*]

構文の説明

name (任意) クライアントの名前。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、アドレス解決プロトコル (ARP) の IP クライアント情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip client arp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip process	IP プロセスに関する情報を表示します。

show ip community-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のコミュニティ リストを表示するには、**show ip community-list** コマンドを使用します。

show ip community-list [*name*]

構文の説明

<i>name</i>	(任意) コミュニティ リストの名前。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
-------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コミュニティ リストを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip community-list
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	BGP コミュニティ リストを設定します。

show ip eigrp

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのサマリーを表示するには、**show ip eigrp** コマンドを使用します。

show ip eigrp [*instance-tag*]

構文の説明

instance-tag (任意) EIGRP インスタンスの名前。*instance-tag* には、大文字と小文字が区別される最大 20 文字の任意の英数字文字列を指定できます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、すべての EIGRP インスタンスを表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp
IP-EIGRP AS 65535 ID 3.1.1.1 VRF default
  Process-tag: Test1
  Status: running
  Authentication mode: none
  Authentication key-chain: none
  Metric weights: K1=1 K2=0 K3=1 K4=0 K5=0
  IP proto: 88 Multicast group: 224.0.0.10
  Int distance: 90 Ext distance: 170
  Max paths: 8
  Number of EIGRP interfaces: 8 (0 loopbacks)
  Number of EIGRP passive interfaces: 0
  Number of EIGRP peers: 8
  Redistributing:
    direct route-map SVI-EIGRP
  Graceful-Restart: Enabled
  Stub-Routing: Disabled
  NSF converge time limit/expiration: 120/0
  NSF route-hold time limit/expiration: 240/0
  NSF signal time limit/expiration: 20/0
  Redistributed max-prefix: Disabled
switch#
```

■ show ip eigrp

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config eigrp</code>	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
<code>router eigrp</code>	EIGRP インスタンスを設定します。

show ip eigrp accounting

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのプレフィクス アカウンティング情報を表示するには、**show ip eigrp accounting** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] accounting [vrf {vrf-name | all | default | management}]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。このオプションは、VRF インスタンスが指定されていない場合に使用できます。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP アカウンティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp accounting
IP-EIGRP Accounting Statistics for AS 65535 VRF default
Total Prefix Count: 3536

States: A-Adjacency, P-Pending, D-Down

State Address/Source Interface Prefix Restart Restart/
Count Count Reset (s)
A Redistributed ---- 118 0 0
A 10.20.150.2 Po2001 3413 0 0
A 10.20.200.2 Po2000 3418 0 0
A 10.0.1.1 Eth1/26 3419 0 0
A 10.50.2.1 Eth2/5 3419 0 0
A 10.50.1.1 Eth2/6 3419 0 0
A 10.50.3.1 Eth2/7 3419 0 0
A 10.20.5.2 Eth3/11 3419 0 0
A 10.20.6.2 Eth3/12 3419 0 0
switch#
```

■ show ip eigrp accounting

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config eigrp</code>	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
<code>router eigrp</code>	EIGRP インスタンスを設定します。

show ip eigrp interfaces

Enhanced IGRP (EIGRP) に設定されたインターフェイスに関する情報を表示するには、**show ip eigrp interfaces** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] interfaces [{ethernet slot/port | loopback if_number |
port-channel number | vlan vlan-id}] [brief] [vrf {vrf-name | all | default |
management}]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンス。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
<i>ethernet slot/port</i>	イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>loopback if_number</i>	ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
<i>port-channel number</i>	EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>vlan vlan-id</i>	VLAN インターフェイスを指定します。範囲は 1 ~ 4094 です。
<i>brief</i>	(任意) EIGRP インターフェイス情報の概要を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
<i>all</i>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<i>default</i>	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
<i>management</i>	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF のすべてのインターフェイスを表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

どのインターフェイス EIGRP がアクティブであり、インターフェイスに関連した EIGRP の情報を学習するかを決定するには、**show ip eigrp interfaces** コマンドを使用します。

インターフェイスを指定すると、そのインターフェイスのみが表示されます。指定されない場合、EIGRP を実行しているすべてのインターフェイスが表示されます。

Autonomous System (AS; 自律システム) を指定すると、指定された AS のルーティング システムのみが表示されます。指定されない場合、すべての EIGRP プロセスが表示されます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

■ show ip eigrp interfaces

例

次に、EIGRP インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp interfaces brief
IP-EIGRP interfaces for process 65535 VRF default

Interface          Peers    Xmit Queue  Mean   Pacing Time  Multicast    Pending
                  Un/Reliable SRTT      Un/Reliable Flow Timer   Routes
Eth1/26            1        0/0         16    0/1           64           0
Eth2/5             1        0/0         16    0/1           64           0
Eth2/6            1        0/0         16    0/1           64           0
Eth2/7            1        0/0         13    0/1           50           0
Eth3/11           1        0/0         18    0/1           80           0
Eth3/12           1        0/0         14    0/1           64           0
Po2000            1        0/0         13    0/1           72           0
Po2001            1        0/0         20    0/1          128           0
switch#
```

次に、特定の EIGRP インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp interfaces ethernet 2/5
IP-EIGRP interfaces for process 65535 VRF default

Interface          Peers    Xmit Queue  Mean   Pacing Time  Multicast    Pending
                  Un/Reliable SRTT      Un/Reliable Flow Timer   Routes
Eth2/5            1        0/0         16    0/1           64           0
  Hello interval is 5 sec
  Holdtime interval is 15 sec
  Next xmit serial <none>
  Un/reliable mcasts: 0/178  Un/reliable ucasts: 292/17
  Mcast exceptions: 4  CR packets: 4  ACKs suppressed: 8
  Retransmissions sent: 8  Out-of-sequence rcvd: 146
  Authentication mode is not set
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip eigrp neighbors	EIGRP によって検出されたネイバーを表示します。
show running-config eigrp	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip eigrp neighbors

Enhanced IGRP (EIGRP) によって検出されたネイバーの情報を表示するには、**show ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] neighbors [detail] [{ethernet slot/port | loopback if_number
| port-channel number | vlan vlan-id}] [vrf {vrf-name | all | default | management}]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
detail	(任意) 詳細な EIGRP ネイバー情報を表示します。
<i>ethernet slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>loopback if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
<i>port-channel number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>vlan vlan-id</i>	(任意) VLAN インターフェイスを指定します。範囲は 1 ~ 4094 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイス上のデフォルト VRF に関するすべてのネイバーを表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ネイバーがアクティブになる、また非アクティブになるときを決定するには、**show ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。このコマンドは、特定の転送問題のデバッグにも役立ちます。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP ネイバーに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp neighbors
```

■ show ip eigrp neighbors

```

IP-EIGRP neighbors for process 65535 VRF default
H   Address                Interface      Hold  Uptime   SRTT   RTO   Q   Seq
                               (sec)         (ms)   Cnt  Num
7   10.20.150.2             Po2001        12    03:44:02  20     200   0   10331
6   10.20.200.2             Po2000        14    03:44:02  13     200   0   158157
5   10.40.1.1                Eth1/26       13    03:44:14  16     200   0   158164
4   10.50.2.1                Eth2/5        12    03:44:14  16     200   0   158166
3   10.50.1.1                Eth2/6        13    03:44:15  16     200   0   158165
2   10.50.3.1                Eth2/7        11    03:44:15  13     200   0   158167
1   10.20.5.2                Eth3/11       14    03:44:16  18     200   0   158158
0   10.20.6.2                Eth3/12       11    03:44:17  14     200   0   158163
switch#

```

次に、EIGRP ネイバーに関する詳細情報を表示する例を示します。

```

switch# show ip eigrp neighbors detail
IP-EIGRP neighbors for process 65535 VRF default
H   Address                Interface      Hold  Uptime   SRTT   RTO   Q   Seq
                               (sec)         (ms)   Cnt  Num
7   10.20.150.2             Po2001        10    03:45:21  20     200   0   10331
    Version 12.4/1.2, Retrans: 4, Retries: 0, Prefixes: 3413
6   10.20.200.2             Po2000        12    03:45:22  13     200   0   158157
    Version 12.4/1.2, Retrans: 2, Retries: 0, Prefixes: 3418
5   10.40.1.1                Eth1/26       11    03:45:34  16     200   0   158164
    Version 12.4/1.2, Retrans: 5, Retries: 0, Prefixes: 3419
4   10.50.2.1                Eth2/5        12    03:45:34  16     200   0   158166
    Version 12.4/1.2, Retrans: 8, Retries: 0, Prefixes: 3419
3   10.50.1.1                Eth2/6        12    03:45:35  16     200   0   158165
    Version 12.4/1.2, Retrans: 4, Retries: 0, Prefixes: 3419
2   10.50.3.1                Eth2/7        13    03:45:35  13     200   0   158167
    Version 12.4/1.2, Retrans: 3, Retries: 0, Prefixes: 3419
1   10.20.5.2                Eth3/11       12    03:45:36  18     200   0   158158
    Version 12.4/1.2, Retrans: 7, Retries: 0, Prefixes: 3419
0   10.20.6.2                Eth3/12       10    03:45:36  14     200   0   158163
    Version 12.4/1.2, Retrans: 5, Retries: 0, Prefixes: 3419
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip eigrp neighbors	EIGRP のネイバーをクリアします。
show running-config eigrp	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip eigrp route

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) ルートを表示するには、任意のモードで **show ip eigrp route-map statistics** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] route [ip-prefix/length] [active] [all-links] [detail-links]
[pending] [summary] [zero-successors] [vrf {vrf-name | all | default | management}]
```

構文の説明

instance-tag	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
ip-prefix/length	(任意) スラッシュ (/) と数字で表示されたネットワーク マスクを使用した、4 つの部分からなるドット付き 10 進表記の IP アドレス。たとえば、/8 は、マスクの最初の 8 ビットが 1 であり、アドレスの対応するビットはネットワーク アドレスであることを示します。
active	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内のアクティブ エントリのみ表示します。
all-links	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのエントリをすべて表示します。
detail-links	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内の全エントリの詳細情報を表示します。
pending	(任意) ネイバーからの更新を待機しているか、ネイバーへの応答を待機している、EIGRP トポロジ テーブル内のすべてのエントリを表示します。
summary	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのサマリーを表示します。
zero-successors	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内の使用可能なルートを表示します。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP ルートを表示する例を示します。

■ show ip eigrp route

```

switch# show ip eigrp route
IP-EIGRP Topology Table for AS(65535)/ID(3.1.1.1) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 192.0.2.0/24, 7 successors, FD is 13056
   via 192.0.2.1 (13056/12800), Ethernet2/7
   via 192.0.2.5 (13056/12800), Ethernet1/26
   via 192.0.2.3 (13056/12800), Ethernet3/12
   via 192.0.2.6 (13056/12800), Ethernet3/11
   via 192.0.2.4 (13056/12800), port-channel2000
   via 192.0.2.2 (13056/12800), Ethernet2/6
   via 192.0.2.7 (13056/12800), Ethernet2/5
P 192.0.2.1/24, 7 successors, FD is 13056
   via 192.0.2.1 (13056/12800), Ethernet2/7
   via 192.0.2.2 (13056/12800), Ethernet2/6
   via 192.0.2.3 (13056/12800), Ethernet3/12
   via 192.0.2.4 (13056/12800), port-channel2000
   via 192.0.2.6 (13056/12800), Ethernet3/11
   via 192.0.2.5 (13056/12800), Ethernet1/26
   via 192.0.2.7 (13056/12800), Ethernet2/5
P 192.0.2.5/24, 7 successors, FD is 13056
   via 192.0.2.1 (13056/12800), Ethernet2/7
<--Output truncated-->
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip eigrp route-map statistics	EIGRP のルート マップ統計情報をクリアします。
show ip eigrp traffic	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。
show running-config eigrp	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip eigrp route-map statistics

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) のルート再配布統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip eigrp route-map statistics** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] route-map statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id |
ospf id | rip id | static} [vrf {vrf-name | all | default | management}]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
bgp	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
direct	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
eigrp	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。
ospf	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
rip	RIP のポリシー統計情報を表示します。
static	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。 eigrp キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 ospf キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

■ show ip eigrp route-map statistics

例

次に、EIGRP のルート マップ統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp route-map statistics redistribute direct
C: No. of comparisions, M: No. of matches

route-map SVI-EIGRP permit 10
  match source-protocol direct                C: 129    M: 0
Total accept count for policy: 129
Total reject count for policy: 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip eigrp route-map statistics	EIGRP のルート マップ統計情報をクリアします。
show ip eigrp traffic	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。
show running-config eigrp	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip eigrp topology

EIGRP トポロジ テーブルを表示するには、**show eigrp topology** コマンドを使用します。

show ip eigrp [*instance-tag*] **topology** [*ip-address/length*] [**active** | **all-links** | **detail-links** | **pending** | **summary** | **zero-successors**] [**vrf** {*vrf-name* | **all** | **default** | **management**}]

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
<i>ip-address/length</i>	(任意) スラッシュ (/) と数字で表示されたネットワーク マスクを使用した、4 つの部分からなるドット付き 10 進表記の IP アドレス。たとえば、/8 は、マスクの最初の 8 ビットが 1 であり、アドレスの対応するビットはネットワーク アドレスであることを示します。
active	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内のアクティブ エントリのみ表示します。
all-links	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのエントリをすべて表示します。
detail-links	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内の全エントリの詳細情報を表示します。
pending	(任意) ネイバーからの更新を待機しているか、ネイバーへの応答を待機している、EIGRP トポロジ テーブル内のすべてのエントリを表示します。
summary	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのサマリーを表示します。
zero-successors	(任意) EIGRP トポロジ テーブル内の使用可能なルートを表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンドデフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

拡散更新アルゴリズム (DUAL) ステートを判断し、DUAL 問題をデバッグするには、**show ip eigrp topology** コマンドを使用します。

キーワードまたは引数を指定せずに **show ip eigrp topology** コマンドを使用すると、Cisco NX-OS はフィジブル サクセサであるルートのみを表示します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP トポロジテーブルを表示する例を示します。指定された内部ルートおよび外部ルートの EIGRP メトリックが表示されます。

```
switch# show ip eigrp topology 192.0.2.0/24
IP-EIGRP (AS 65535): Topology entry for 192.0.2.0/24
  State is Passive, Query origin flag is 1, 7 Successor(s), FD is 13056
  Routing Descriptor Blocks:
  192.0.2.1 (Ethernet2/7), from 192.0.2.1, Send flag is 0x0
    Composite metric is (13056/12800), Route is External
    Vector metric:
      Minimum bandwidth is 500000 Kbit
      Total delay is 310 microseconds
      Reliability is 200/255
      Load is 1/255
      Minimum MTU is 1500
      Hop count is 1
    External data:
      Originating router is 1.1.1.1
      AS number of route is 0
      External protocol is OSPF, external metric is 0
      Administrator tag is 0 (0x00000000)
  192.0.2.2 (Ethernet2/6), from 192.0.2.2, Send flag is 0x0
    Composite metric is (13056/12800), Route is External
    Vector metric:
      Minimum bandwidth is 500000 Kbit
      Total delay is 310 microseconds
      Reliability is 200/255
      Load is 1/255
      Minimum MTU is 1500
      Hop count is 1
    External data:
      Originating router is 1.1.1.1
      AS number of route is 0
      External protocol is OSPF, external metric is 40
      Administrator tag is 0 (0x00000000)
  192.0.2.3 (Ethernet3/12), from 192.0.2.3, Send flag is 0x0
    Composite metric is (13056/12800), Route is External
    Vector metric:
      Minimum bandwidth is 500000 Kbit
      Total delay is 310 microseconds
      Reliability is 200/255
      Load is 1/255
      Minimum MTU is 1500
      Hop count is 1
    External data:
      Originating router is 1.1.1.1
      AS number of route is 0
      External protocol is OSPF, external metric is 40
      Administrator tag is 0 (0x00000000)
  192.0.2.6 (Ethernet3/11), from 192.0.2.6, Send flag is 0x0
    Composite metric is (13056/12800), Route is External
    Vector metric:
      Minimum bandwidth is 500000 Kbit
      Total delay is 310 microseconds
      Reliability is 200/255
      Load is 1/255
      Minimum MTU is 1500
      Hop count is 1
    External data:
      Originating router is 1.1.1.1
```

```

AS number of route is 0
External protocol is OSPF, external metric is 40
Administrator tag is 0 (0x00000000)
192.0.2.4 (port-channel2000), from 192.0.2.4, Send flag is 0x0
Composite metric is (13056/12800), Route is External
Vector metric:
  Minimum bandwidth is 500000 Kbit
  Total delay is 310 microseconds
  Reliability is 200/255
  Load is 1/255
  Minimum MTU is 1500
  Hop count is 1
External data:
  Originating router is 1.1.1.1
  AS number of route is 0
  External protocol is OSPF, external metric is 40
  Administrator tag is 0 (0x00000000)
192.0.2.2 (Ethernet2/6), from 192.0.2.2, Send flag is 0x0
Composite metric is (13056/12800), Route is External
Vector metric:
  Minimum bandwidth is 500000 Kbit
  Total delay is 310 microseconds
  Reliability is 200/255
  Load is 1/255
  Minimum MTU is 1500
  Hop count is 1
External data:
  Originating router is 1.1.1.1
  AS number of route is 0
  External protocol is OSPF, external metric is 40
  Administrator tag is 0 (0x00000000)
192.0.2.7 (Ethernet2/5), from 192.0.2.7, Send flag is 0x0
Composite metric is (13056/12800), Route is External
Vector metric:
  Minimum bandwidth is 500000 Kbit
  Total delay is 310 microseconds
  Reliability is 200/255
  Load is 1/255
  Minimum MTU is 1500
  Hop count is 1
External data:
  Originating router is 1.1.1.1
  AS number of route is 0
  External protocol is OSPF, external metric is 40
  Administrator tag is 0 (0x00000000)
192.0.2.200 (port-channel2001), from 192.0.2.200, Send flag is 0x0
Composite metric is (13312/13056), Route is External
Vector metric:
  Minimum bandwidth is 500000 Kbit
  Total delay is 320 microseconds
  Reliability is 200/255
  Load is 1/255
  Minimum MTU is 1500
  Hop count is 2
External data:
  Originating router is 1.1.1.1
  AS number of route is 0
  External protocol is OSPF, external metric is 40
  Administrator tag is 0 (0x00000000)
switch#

```

次に、EIGRP トポロジテーブル内のすべてのエントリを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology all-links
```

■ show ip eigrp topology

次に、EIGRP トポロジ テーブル内のすべてのエントリの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology detail-links
```

次に、トポロジ テーブルのサマリーを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology summary
IP-EIGRP Topology Table for AS(65535)/ID(3.1.1.1) VRF default

Head serial 3, next serial 15631
3536 routes, 0 pending replies, 0 dummies
IP-EIGRP(0) enabled on 8 interfaces, 8 neighbors present on 8 interfaces
Quiescent interfaces: Eth3/11 Po2000 Po2001 Eth2/7 Eth2/5 Eth2/6 Eth1/26 Eth3/12
switch#
```

次に、トポロジ テーブルのアクティブ エントリを表示する例を示します。

```
switch(config-if)# show ip eigrp topology active
```

次に、トポロジ テーブルのゼロ サクセサを表示する例を示します。

```
switch(config-router)# show ip eigrp topology zero-successors
```

次に、保留のエントリを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology pending
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config eigrp	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip eigrp traffic

送受信される Enhanced IGRP (EIGRP) パケットの数を表示するには、**show ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] traffic [vrf {vrf-name | all | default | management}]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP インスタンスの名前。インスタンス タグには最大 20 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字を区別します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

この EIGRP インスタンスによって送受信されたパケットの数を確認するには、**show ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

また、接続またはコンフィギュレーションの問題のために、あるノードからのパケットがネイバーノードに到達していないかを判断するには、このコマンドが便利です。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp traffic
IP-EIGRP Traffic Statistics for AS 65535 VRF default
  Hellos sent/received: 29838/44756
  Updates sent/received: 1448/1775
  Queries sent/received: 33/47
  Replies sent/received: 31/31
  Acks sent/received: 1759/2061
  Input queue high water mark 33, 0 drops
  SIA-Queries sent/received: 0/0
  SIA-Replies sent/received: 0/0
  Hello Process ID: (no process)
  PDM Process ID: (no process)
switch#
```

■ show ip eigrp traffic

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config eigrp</code>	EIGRP の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip fib

転送情報を表示するには、**show ip fib** コマンドを使用します。

```
show ip fib {adjacency | interfaces | route} module slot
```

構文の説明

adjacency	隣接関係情報を表示します。
interfaces	モジュール上のインターフェイスの転送情報を表示します。
route	モジュール上のルートの転送情報を表示します。
module slot	モジュールに関する情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show ip fib** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show ip fib** コマンドを使用できます。

例

次に、モジュール 1 の転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip fib route module 1

IPv4 routes for table default/base

-----+-----+-----
Prefix          | Next-hop          | Interface
-----+-----+-----
0.0.0.0/32      | Drop              | Null0
255.255.255.255/32 | Receive          | sup-eth1
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding	FIB に関する情報を表示します。

show ip fib distribution

転送分散情報を表示するには、**show ip fib distribution** コマンドを使用します。

show ip fib distribution [clients | state]

構文の説明

clients	(任意) ユニキャスト クライアントの転送分散情報を表示します。
state	(任意) ユニキャスト FIB の転送分散ステートを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ユニキャスト クライアントの転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip fib distribution clients
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding distribution	FIB に関する分散情報を表示します。

show ip interface

インターフェイスの IP 情報を表示するには、**show ip interface** コマンドを使用します。

show ip interface [*type number*] [**brief**] [**vrf vrf-name**]

構文の説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用してオプションを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して範囲を表示します。
brief	(任意) IP 情報のサマリーを表示します。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、イーサネット 1/5 の IP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip interface ethernet 1/5
IP Interface Status for VRF "default"(1)
Ethernet1/5, Interface status: protocol-down/link-down/admin-up, iof: 11,
  IP address: 192.0.0.1, IP subnet: 192.0.0.0/24
  IP broadcast address: 255.255.255.255
  IP multicast groups locally joined: none
  IP MTU: 1500 bytes (using link MTU)
  IP primary address route-preference: 0, tag: 0
  IP proxy ARP : disabled
  IP Local Proxy ARP : disabled
  IP multicast routing: disabled
  IP icmp redirects: enabled
  IP directed-broadcast: disabled
  IP icmp unreachable (except port): disabled
  IP icmp port-unreachable: enabled
  IP unicast reverse path forwarding: none
  IP load sharing: none
  IP interface statistics last reset: never
  IP interface software stats: (sent/received/forwarded/originated/consumed)
  Unicast packets   : 0/0/0/0/0
  Unicast bytes     : 0/0/0/0/0
  Multicast packets : 0/0/0/0/0
  Multicast bytes   : 0/0/0/0/0
  Broadcast packets : 0/0/0/0/0
  Broadcast bytes   : 0/0/0/0/0
  Labeled packets   : 0/0/0/0/0
  Labeled bytes     : 0/0/0/0/0
```

■ show ip interface

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip address	ネットワーク インターフェイスにプライマリ IP アドレスを割り当てます。

show ip load-sharing

IP ロードシェアリング情報を表示するには、**show ip load-sharing** コマンドを使用します。

show ip load-sharing

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、IP ロードシェアリング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip load-sharing
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip load-sharing	IP ロードシェアリングを表示します。

show ip ospf

OSPF ルーティング インスタンスに関する一般情報を表示するには、**show ip ospf** コマンドを使用します。

show ip ospf [*instance-tag*] [**vrf** *vrf-name*]

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数には、20 文字の任意の英数字文字列を指定できません。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

1 つまたは複数の OSPF インスタンスに関する情報を表示するには、**show ip ospf** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF インスタンスに関するすべての情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf
Routing Process 201 with ID 192.0.2.1 VRF default
  Stateful High Availability enabled
  Graceful-restart is configured
    Grace period: 60 state: Inactive
    Last graceful restart exit status: None
  Supports only single TOS(TOS0) routes
  Supports opaque LSA
  This router is an autonomous system boundary
  Redistributing External Routes from
    bgp-1
    Maximum limit: 1000 (warning-only)
    Threshold: message 750
    Current count: 0
  Administrative distance 110
  Reference Bandwidth is 40000 Mbps
  Initial SPF schedule delay 3000.000 msecs,
```

```

    minimum inter SPF delay of 2000.000 msec,
    maximum inter SPF delay of 4000.000 msec,
Initial LSA generation delay 3000.000 msec,
    minimum inter LSA delay of 6000.000 msec,
    maximum inter LSA delay of 6000.000 msec
Minimum LSA arrival 2000.000 msec
Maximum paths to destination 3
Originating router LSA with maximum metric
Condition: Always
Number of external LSAs 0, checksum sum 0
Number of opaque AS LSAs 0, checksum sum 0
Number of areas is 3, 3 normal, 0 stub, 0 nssa
Number of active areas is 0, 0 normal, 0 stub, 0 nssa
  Area BACKBONE(0.0.0.0) (Inactive)
    Area has existed for 00:22:49
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    Passive interfaces: 0 Loopback interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 3 times
    Last SPF ran for 0.000036s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
  Area (0.0.0.10) (Inactive)
    Area has existed for 00:41:30
    Interfaces in this area: 0 Active interfaces: 0
    Passive interfaces: 0 Loopback interfaces: 0
    Summarization is disabled
    Simple password authentication
    SPF calculation has run 8 times
    Last SPF ran for 0.000150s
    Area ranges are
    10.3.0.0/16 Passive (Num nets: 0) Advertise
    Area-filter in 'FilterLSAs'
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
  Area (0.0.0.15) (Inactive)
    Area has existed for 00:49:30
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    Passive interfaces: 1 Loopback interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 8 times
    Last SPF ran for 0.000021s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
switch#

```

次に、特定の 1 つの OSPF インスタンスに関する情報を表示する例を示します。

```

switch# show ip ospf 201
Routing Process 201 with ID 192.0.2.1 VRF default
Stateful High Availability enabled
Graceful-restart is configured
  Grace period: 60 state: Inactive
  Last graceful restart exit status: None
Supports only single TOS(TOS0) routes
Supports opaque LSA
Administrative distance 110
Reference Bandwidth is 40000 Mbps
Initial SPF schedule delay 200.000 msec,
  minimum inter SPF delay of 1000.000 msec,
  maximum inter SPF delay of 5000.000 msec
Initial LSA generation delay 0.000 msec,
  minimum inter LSA delay of 5000.000 msec,
  maximum inter LSA delay of 5000.000 msec
Minimum LSA arrival 1000.000 msec

```

■ show ip ospf

```

Maximum paths to destination 3
Number of external LSAs 0, checksum sum 0
Number of opaque AS LSAs 0, checksum sum 0
Number of areas is 2, 1 normal, 1 stub, 0 nssa
Number of active areas is 0, 0 normal, 0 stub, 0 nssa
  Area (0.0.0.10) (Inactive)
    Area has existed for 00:12:18
    Interfaces in this area: 0 Active interfaces: 0
    Passive interfaces: 0 Loopback interfaces: 0
    This area is a STUB area
    Generates stub default route with cost 25
    Simple password authentication
    SPF calculation has run 1 times
      Last SPF ran for 0.000122s
    Area ranges are
    Area-filter in 'FilterLSAs'
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
  Area (0.0.0.15) (Inactive)
    Area has existed for 00:20:18
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    Passive interfaces: 1 Loopback interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 1 times
      Last SPF ran for 0.000020s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
switch#

```

表 13-1 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13-1 show ip ospf フィールドの説明

フィールド	説明
Routing Process...	OSPF インスタンス タグおよび OSPF ルータ ID
Stateful High Availability	ステートフル再起動機能のステータス
Supports...	サポートされるサービス タイプの数 (タイプ 0 のみ)
Administrative distance	OSPFv2 インスタンスのアドミニストレーティブ ディスタンス。
Reference Bandwidth	コスト計算に使用する帯域幅
Initial SPF schedule delay	SPF 計算の遅延時間
Initial LSA generation delay	LSA 生成の遅延時間。
Minimum LSA arrival	Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) の間の最小インターバル
Maximum paths to destination	ネイバーへの最大パス。
Number of...	受信した LSA の数およびタイプ
Number of areas is...	ルータ用に設定されたエリアの数およびタイプ
Number of active areas is	ルータに設定されたアクティブ領域の数およびタイプ。

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf border-routers

Area Border Router (ABR; エリア境界ルータ) および Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) に対して、OSPF ルーティング テーブル エントリを表示するには、**show ip ospf border-routers** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] border-routers [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show ip ospf border-routers コマンドは、ABR と ASBR に関する情報を表示するために使用します。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、境界ルータに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf border-routers
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf database

特定のルータの OSPF データベースを表示するには、**show ip ospf database** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] database [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database asbr-summary [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database database-summary [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database external [ext_tag value] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database network [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database nssa-external [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database opaque-area [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database opaque-as [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database opaque-link [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database router [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

```
show ip ospf [instance-tag] database summary [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) のいずれかで指定します。
<i>link-state-id</i>	(任意) アドバタイズメントによって説明されるインターネット環境の部分。入力値は、アドバタイズメントのリンクステートタイプによって異なります。IP アドレスの形式で指定します。
adv-router <i>ip-address</i>	(任意) 指定されたルータのすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) を表示します。
self-originate	(任意) 自動送信 LSA (ローカル ルータから) を表示します。
asbr-summary	(任意) Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) サマリー LSA に関する情報を表示します。
database-summary	(任意) データベースの各エリアの各 LSA タイプと、LSA の総数を表示します。
external	(任意) 外部 LSA に関する情報を表示します。

ext_tag value	(任意) 外部タグに基づいた情報を表示します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
network	(任意) ネットワーク LSA に関する情報を表示します。
nssa-external	(任意) Not-So-Stubby Area (NSSA) 外部 LSA に関する情報を表示します。
opaque-area	(任意) 不透明なエリア LSA に関する情報を表示します。
opaque-as	(任意) 不透明な AS LSA に関する情報を表示します。
opaque-link	(任意) 不透明なリンクローカル LSA に関する情報を表示します。
router	(任意) ルータ LSA に関する情報を表示します。
summary	(任意) 集約 LSA に関する情報を表示します。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 異なる OSPF LSA に関する情報を表示するには、**ip ospf database** コマンドを使用します。

LSA がネットワークを学習すると、*link-state-id* 引数は次のいずれかの形式を使用します。

- ネットワークの IP アドレス (タイプ 3 サマリー リンク アドバタイズメントや自律システム外部リンク アドバタイズメントなど)。
- リンク ステート ID から取得された派生アドレス (ネットワークのサブネット マスクを使用して ネットワーク リンク アドバタイズメントのリンク ステート ID をマスクすることによって、ネットワークの IP アドレスが生成されることに注意してください)。
- リンク ステート アドバタイズメントにルータの説明が記載されている場合は、必ず、リンク ステート ID が、記載されたルータの OSPF ルータ ID になります。
- AS 外部アドバタイズメント (LS タイプ = 5) がデフォルトのルートの説明する場合、そのリンク ステート ID はデフォルトの宛先 (0.0.0.0) に設定されます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPF データベースを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf database
```

次に、ASBR のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf database asbr-summary
```

■ show ip ospf database

次に、外部リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf database external
```

次に、OSPF データベースのサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf database database-summary
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config</code> <code>ospf</code>	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf interface

OSPF 関連のインターフェイス情報を表示するには、**show ip ospf interface** コマンドを使用します。

```
show ip ospf interface [instance-tag] [{ethernet slot/port | loopback if_number |  
port-channel number}] [brief] [vrf vrf-name]
```

構文の説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
ethernet <i>slot/port</i>	(任意) イーサネットインターフェイスを指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
loopback <i>if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
port-channel <i>number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
brief	(任意) ルータ上の OSPF インターフェイス、ステータス、アドレス、マスク、およびエリアの概要情報を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン インターフェイスの OSPF ステータスを表示するには、**show ip ospf interface** コマンドを使用します。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、イーサネット インターフェイス 1/5 の OSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf interface ethernet 1/5
Ethernet1/5 is up, line protocol is down
  IP address 192.0.2.1, Process ID 201 VRF RemoteOfficeVRF, area 0.0.0.10
  Enabled by interface configuration
  State DOWN, Network type BROADCAST, cost 4
  Index 1, Transmit delay 1 sec, Router Priority 1
  No designated router on this network
  No backup designated router on this network
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
```

■ show ip ospf interface

```

    No authentication
    Number of opaque link LSAs: 0, checksum sum 0
switch#

```

表 13-2 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13-2 show ip ospf interface フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet	プロトコルの物理リンクのステータスおよび動作ステータス
IP Address	インターフェイス IP アドレス、サブネット マスク、およびエリア アドレス
VRF	VRF インスタンス
Transmit Delay	転送遅延、インターフェイス ステート、およびルータ プライオリ ティ
designated router	指定ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
backup designated router	バックアップ指定ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
Timer intervals	タイマー インターバルの設定情報。
Hello	次の hello パケットをこのインターフェイスに送信するまでの秒数

次に、すべての VRF の OSPF 情報を表示する例を示します。

```

switch# show ip ospf interface vrf all
VL1-0.0.0.10-10.1.2.3 is down, line protocol is down
  IP address 0.0.0.0, Process ID 201 VRF default, area 0.0.0.0
  State DOWN, Network type P2P, cost 65535
  Index 2, Transmit delay 2 sec
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 25, Dead 50, Wait 50, Retransmit 50
  Message-digest authentication, using key id 21
  Number of opaque link LSAs: 0, checksum sum 0

switch#

```

次に、OSPF 情報を要約形式で表示する例を示します。

```

switch# show ip ospf interface brief
OSPF Process ID 201 VRF default
Total number of interface: 1
Interface          ID      Area          Cost   State   Neighbors  Status
VL1                 2      0.0.0.0       65535  DOWN   0          down

switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf lsa-content-changed-list

変更された内容のあるすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf lsa-content-changed-list** コマンドを使用します。

```
show ip ospf lsa-content-changed-list neighbor-id {ethernet slot/port | loopback
if_number | port-channel number}
```

構文の説明

<i>neighbor id</i>	A.B.C.D 形式のネイバーのルータ ID。
ethernet slot/port	イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
loopback if_number	ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
port-channel number	EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、イーサネット 2/1 用に変更された LSA のリストを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf lsa-content-changed-list 192.0.2.2 ethernet 2/1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf neighbors

インターフェイス単位で Open Shortest Path First (OSPF) ネイバー情報を表示するには、**show ip ospf neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] neighbors [{ethernet slot/port | loopback if_number |
port-channel number}] [neighbor-id] [detail] [summary] [vrf {vrf-name | all | default
| management}]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。20 文字の英数字文字列として指定します。
<i>ethernet slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>loopback if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
<i>port-channel number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>neighbor-id</i>	(任意) ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>detail</i>	(任意) 指定されたすべてのネイバーの詳細を表示します (すべてのネイバーをリストします)。
<i>summary</i>	(任意) ネイバーのサマリーを表示します。
<i>vrf</i>	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
<i>all</i>	すべての VRF エントリを指定します。
<i>default</i>	デフォルト VRF を指定します。
<i>management</i>	管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

この OSPF インスタンスのすべての、または一部のネイバーに関する情報を表示するには、**show ip ospf neighbors** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、ネイバー ID と一致するネイバーに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf neighbors 10.199.199.137
```


次に、インターフェイスのネイバー ID と一致するネイバーを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf neighbors ethernet 2/1 10.199.199.137
```

次に、OSPF ネイバーの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf neighbors detail
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config ospf</code>	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf policy statistics area

エリアの OSPF ポリシー統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics area** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] policy statistics area area-id filter-list {in | out} [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
area <i>area-id</i>	特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号を指定します。エリア ID には、IP アドレスまたは 0 ~ 4294967295 の番号を指定できます。
filter-list	OSPF エリアの間のプレフィックスをフィルタリングします。
in	着信ルートポリシー統計情報を表示します。
out	発信ルートポリシー統計情報を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、「management」、および「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

エリアに適用されたフィルタリストに関する情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics area** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf policy statistics area 201 filter-list in
```

関連コマンド

コマンド	説明
area filter-list (OSPF)	エリア境界ルータ (ABR) 上で着信または発信ネットワーク集約 (タイプ 3) リンクステートアドバタイズメント (LSA) をフィルタリングします。

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf policy statistics redistribute

OSPF ポリシー統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | ospf
id | rip id | static} [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。英数字文字列で指定します。
bgp	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
direct	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
eigrp	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
ospf	OSPF のポリシー統計情報を表示します。
rip	RIP のポリシー統計情報を表示します。
static	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。 eigrp キーワードは、AS 番号です。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。 ospf および rip キーワードは、ルートの再配布元であるインスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、「management」、および「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

再配布統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics redistribute** コマンドを使用します。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、再配布ルートのポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf policy statistics redistribute
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config ospf</code>	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf request-list

ルータが要求した、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf request-list** コマンドを使用します。

```
show ip ospf request-list neighbor-id {ethernet slot/port | loopback if_number |
port-channel number}
```

構文の説明

<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>ethernet slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>loopback if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
<i>port-channel number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

OSPF ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ip ospf request-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、ルータが要求したすべての LSA のリストを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf request-list 40.40.40 ethernet 2/1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf retransmission-list

ネイバーへの再送信を待機する、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタ イズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf retransmission-list** コマンドを使用します。

```
show ip ospf retransmission-list neighbor-id {ethernet slot/port | loopback if_number | port-channel number}
```

構文の説明

<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
ethernet <i>slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
loopback <i>if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
port-channel <i>number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

OSPF ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ip ospf retransmission-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、ネイバーへの再送信を待機するすべての LSA を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf retransmission-list 192.0.2.11 ethernet 2/1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf route

OSPF トポロジ テーブルを表示するには、**show ip ospf routes** コマンドを使用します。

show ip ospf [*instance-tag*] **routes** [*prefix/length* | **summary**] [**vrf** *vrf-name*]

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。20 文字の英数字文字列として指定します。
<i>prefix/length</i>	(任意) IP プレフィクス。特定のルートへの出力を制限します。スラッシュ (/) と 1 ~ 31 の数値として長さを示します。たとえば、/8 は、IP プレフィクスの最初の 8 ビットがネットワーク ビットであることを示します。
summary	(任意) すべてのルートのサマリーを表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、「management」、および「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

OSPF プライベート ルーティング テーブル (OSPF によって計算されるルートのみを含む) を表示するには、**show ospf routes** コマンドを使用します。Routing Information Base (RIB; ルーティング情報ベース) 内のルートに異常がある場合、ルートの OSPF コピーをチェックして、RIB 内容と一致するかどうか判断してください。一致しない場合、OSPF と RIB の間に同期化問題があります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF ルートを表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf route
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf statistics

OSPF Shortest Path First (SPF) 計算統計情報を表示するには、**show ip ospf statistics** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] statistics [vrf vrf-name]
```

構文の説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。最大 20 文字の英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF の名前 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、 「management」、および「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン LSA に関する情報を表示するには、**show ip ospf statistics** コマンドを使用します。この情報は、OSPF ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング両方に役立ちます。たとえば、LSA フラッピングのトラブルシューティングの第一段階として **show ip ospf statistics** コマンドを使用することを推奨します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例 次に、SPF 計算に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf statistics
OSPF Process ID 201 VRF default, Event statistics (cleared 00:10:45 ago)
Router ID changes: 1
DR elections: 0
Older LSAs received: 0
Neighbor state changes: 0
Neighbor dead postponed: 0
Neighbor dead interval expirations: 0
Neighbor bad lsreqs: 0
Neighbor sequence number mismatches: 0
SPF computations: 2 full, 0 summary, 0 external

      LSA Type Generated Refreshed   Flushed  Aged out
      Router      0           0         0         0
      Network     0           0         0         0
      Summary Net  0           0         0         0
      Summary ASBR 0           0         0         0
      AS External  0           0         0         0
```

■ show ip ospf statistics

```

Opaque Link          0          0          0          0
Opaque Area          0          0          0          0
  Opaque AS          0          0          0          0

```

Following counters can not be reset:

```

LSA deletions: 0 pending, 0 hwm, 0 deleted, 0 revived, 0 runs
Hello queue: 0/200, hwm 0, drops 0
Flood queue: 0/350, hwm 0, drops 0
LSDB additions failed: 0

```

```

      Buffers:      in use      hwm permanent      alloc      free
128 bytes          0          0          0          0          0
512 bytes          0          0          0          0          0
1520 bytes         0          0          0          0          0
4500 bytes         0          0          0          0          0
      huge          0          0          0          0          0

```

switch#

表 13-3 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13-3 show ip ospf statistics フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF process	設定内の OSPF インスタンスに割り当てられた一意な値
VRF	この OSPF インスタンスの VRF
DR elections	新しい指定ルータが選択された回数
Neighbor...	ネイバーの詳細
LSA Type	各タイプの LSA が送信された数
Hello queue	処理する hello パケットのキュー <ul style="list-style-type: none"> キュー内の現在数/キュー内の最大許容数。 hwm : 最高水準点。キュー内に保存されていたパケットの最大数 drops : キューがいっぱいでドロップされたパケットの数
Flood queue	処理するフラッド パケットのキュー
Buffers	パケットの保存に使用するメモリ量

■ 関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf summary-address

OSPF インスタンスに設定されたすべてのサマリー アドレス再配布情報のリストを表示するには、**show ip ospf summary-address** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] summary-address [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、「management」、および「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、サマリー アドレスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf summary-address
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip ospf traffic

OSPF トラフィック統計情報を表示するには、**show ip ospf traffic** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] traffic [ethernet slot/port | loopback if_number | port-channel number] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) OSPF インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
<i>ethernet slot/port</i>	(任意) イーサネットインターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>loopback if_number</i>	(任意) ループバックインターフェイスを指定します。ループバックインターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
<i>port-channel number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、「management」、および「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

1 つまたは複数の OSPF インスタンスのトラフィック情報を表示するには、**show ip ospf traffic** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイス 1/5 の OSPF トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf traffic ethernet 1/5
OSPF Process ID 201 VRF RemoteOfficeVRF, Packet Counters (cleared 00:26:04 ago)
Interface Ethernet1/5, Area 0.0.0.0
Total: 0 in, 0 out
LSU transmissions: first 0, rxmit 0, for req 0, nbr xmit 0
Flooding packets output throttled (IP/tokens): 0 (0/0)
Ignored LSAs: 0, LSAs dropped during SPF: 0
LSAs dropped during graceful restart: 0
Errors: drops in      0, drops out      0, errors in      0,
        errors out    0, hellos in      0, dbds in      0,
        lsreq in      0, lsu in        0, lsacks in     0,
```

```

unknown in      0, unknown out    0, no ospf        0,
bad version     0, bad crc        0, dup rid         0,
dup src         0, invalid src    0, invalid dst    0,
no nbr          0, passive         0, wrong area     0,
pkt length      0, nbr changed rid/ip addr 0
bad auth        0

      hellos      dbds      lsreqs      lsus      acks
In:      0          0          0          0          0
Out:      0          0          0          0          0

```

switch#

表 13-4 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13-4 show ospf traffic フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Process	これらのトラフィック統計情報の OSPF インスタンス タグ
VRF	この OSPF インスタンスの VRF
Interface ...	インターフェイス情報
Errors	
drops	ドロップされたパケットの数
bad version	間違ったバージョンで受信されたパケットの数
dup src	重複した送信元アドレスのあるパケットの数。
no nbr	フル ネイバーではないルータからのパケットの数
nbr changed rid/ip addr	ネイバーの値と一致しないルータ ID/IP アドレスのペアのあるパケットの数
lsreq	タイプ LSREQ のパケットの数 (必要な LSA)。
acks	タイプ LSACK のパケットの数 (確認応答された LSA)。

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip ospf traffic	OSPF トラフィック統計情報をクリアします。
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show ip ospf virtual-links

OSPF 仮想リンクのパラメータと現在のステータスを表示するには、**show ip ospf virtual-links** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] virtual-links [brief] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
brief	(任意) 設定済み仮想リンクのサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF VRF の名前。 <i>vrf-name</i> 引数には、最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列「default」、「management」、および「all」は、予約済みの <i>vrf-names</i> です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

設定済み仮想リンクに関する情報を表示するには、**show ip ospf virtual-links** コマンドを使用します。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、仮想リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf virtual-links
Virtual link VL1 to router 10.1.2.3 is down
  Transit area 0.0.0.10, via interface (null), remote addr 0.0.0.0
  IP address 0.0.0.0, Process ID 201 VRF default, area 0.0.0.0
  State DOWN, Network type P2P, cost 65535
  Index 2, Transmit delay 2 sec
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 25, Dead 50, Wait 50, Retransmit 50
  Message-digest authentication, using key id 21
  Number of opaque link LSAs: 0, checksum sum 0
  Adjacency Information

switch#
```

表 13-5 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13-5 show ip ospf virtual-links フィールドの説明

フィールド	説明
Virtual Link	OSPF ネイバーと、そのネイバーへのリンクがアップまたはダウンであるかを示します。
VRF	この OSPF インスタンスの VRF
Transit area...	仮想リンクが形成される通過エリア
via interface...	仮想リンクが形成されるインターフェイス
cost	仮想リンクによって OSPF ネイバーに到達するコスト
Transmit delay	仮想リンク上の送信遅延 (秒単位)
Timer intervals...	リンク用に設定されたさまざまなタイマー インターバル
Hello	次の hello をネイバーから送信する時間

次に、仮想リンクの情報を要約形式で表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf virtual-links brief
OSPF Process ID 201 VRF default
Total number of vlinks: 1
Remote Router   ID      Transit Area   Cost   Status
10.1.2.3        1      0.0.0.10      65535  down

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ospf	OSPF の実行コンフィギュレーションを表示します。

show ip prefix-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のプレフィクス リストを表示するには、**show ip prefix-list** コマンドを使用します。

show ip prefix-list [*name*]

構文の説明

<i>name</i>	(任意) コミュニティ リストの名前。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
-------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、プレフィクス リストを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip prefix-list
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip prefix-list	BGP プレフィクス リストを設定します。

show ip process

IP プロセスに関する情報を表示するには、**show ip process** コマンドを使用します。

show ip process [*vrf vrf-name*]

構文の説明

vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
----------------------------	--

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、IP プロセスに関する詳細の例を示します。

```
switch(config)# show ip process
VRF default
  VRF id is 1
  Base table id is 1
  Auto discard is disabled
  Auto discard is not added
  Auto Null broadcast is configured
  Auto Punt broadcast is configured
  Static discard is not configured
  Number of static default route configured is 0
  Number of ip unreachable configured is 0
  Iodlist: 73 74
  Local address list: 1.1.1.1          2.2.2.1          21.1.1.1
switch(config)#
```

show ip rip

RIP の設定およびステータスを表示するには、任意のモードで **show ip rip** コマンドを使用します。

show ip rip [*instance-tag*] [**vrf** *vrf-name*]

構文の説明

<i>instance-tag</i>	(任意) RIP インスタンス。インスタンス タグは最大 20 文字までの英数字を指定できます。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、RIP 設定情報を表示する例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ip rip neighbor	RIP ネイバー情報を表示します。
show ip rip policy statistics	RIP ポリシー統計情報を表示します。
show ip rip route	RIP ルート情報を表示します。
show ip rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip interface

ルーティング情報プロトコル (RIP) トポロジテーブルのインターフェイス エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip interface** コマンドを使用します。

show ip rip interface [*type slot/port*] [*vrf vrf-name*]

構文の説明

interface <i>type slot/port</i>	(任意) インターフェイスを指定します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

このコマンドには、デフォルト設定はありません。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、指定されたインターフェイスのネイバー情報を RIP トポロジテーブルから表示する例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip interface ethernet 1/2
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip rip	RIP 情報を表示します。
show ip rip neighbor	RIP ネイバー情報を表示します。
show ip rip policy statistics	RIP ポリシー統計情報を表示します。
show ip rip route	RIP ルート情報を表示します。
show ip rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip neighbor

ルーティング情報プロトコル (RIP) トポロジテーブルのネイバー情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip neighbor** コマンドを使用します。

show ip rip neighbor [*interface-type instance*] [*vrf vrf-name*]

構文の説明

<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、**show ip rip neighbor** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip neighbor
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip rip	RIP 情報を表示します。
show ip rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ip rip policy statistics	RIP ポリシー統計情報を表示します。
show ip rip route	RIP ルート情報を表示します。
show ip rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip policy statistics

RIP のポリシー統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip policy statistics** コマンドを使用します。

```
show ip rip policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | ospf id | static} [vrf vrf-name]
```

構文の説明

bgp	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
direct	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
eigrp	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
ospf	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
static	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
id	<p>bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p>eigrp キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p>ospf キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、EIGRP のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip rip policy statistics	RIP のポリシー統計情報をクリアします。
show ip rip	RIP 情報を表示します。
show ip rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ip rip neighbor	ネイバーの RIP 情報を表示します。
show ip rip route	RIP ルート情報を表示します。
show ip rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip route

ルーティング情報プロトコル (RIP) トポロジテーブルのルート情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip route** コマンドを使用します。

```
show ip rip route [prefix/length] [summary] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>prefix/length</i>	(任意) ルーティング情報を表示する対象の IP プレフィクス。
summary	(任意) 集約経路に関する情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、RIP トポロジテーブルのルート情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip rip route
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip rip	RIP 情報を表示します。
show ip rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ip rip neighbor	ネイバーの RIP 情報を表示します。
show ip rip policy statistics	RIP のポリシー統計情報を表示します。
show ip rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip statistics

ルーティング情報プロトコル (RIP) トポロジテーブルの統計エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip statistics** コマンドを使用します。

show ip rip statistics [*interface-type instance*] [*vrf vrf-name*]

構文の説明

<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、RIP 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip rip statistics
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip rip	RIP 情報を表示します。
show ip rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ip rip neighbor	ネイバーの RIP 情報を表示します。
show ip rip policy statistics	RIP のポリシー統計情報を表示します。
show ip rip route	RIP ルート情報を表示します。

show ip route

ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) からのルートを表示するには、**show ip route** コマンドを使用します。

```
show ip route [all | addr | hostname | prefix | route-type | interface type number | next-hop
addr] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

all	(任意) すべてのルートを表示します。
addr	(任意) IPv4 アドレス。形式は x.x.x.x です。
hostname	ホスト名。name には、大文字と小文字が区別される最大 80 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
prefix	(任意) IPv4 プレフィクス。形式は x.x.x.x/length です。length の範囲は 1 ~ 32 です。
route-type	(任意) ルートタイプ。? を使用してタイプのリストを表示します。
interface type number	(任意) インターフェイスのルートを表示します。? を使用してサポートされているインターフェイスを表示します。
next-hop addr	(任意) このネクストホップアドレスのあるルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ルートテーブルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip route all
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip route	ルートテーブルのエントリをクリアします。

show ip static-route

ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) からスタティック ルートを表示するには、**show ip static-route** コマンドを使用します。

```
show ip static-route [vrf {vrf-name | all}]
```

構文の説明

vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF 名を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スタティック ルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip static-route
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip route	スタティック ルートを設定します。

show ip traffic

IP トラフィック情報を表示するには、**show ip traffic** コマンドを使用します。

show ip traffic

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、IP トラフィック情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip traffic

IP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission and reception:
  Packets received: 103598, sent: 32093, consumed: 2,
  Forwarded, unicast: 0, multicast: 0, Label: 0
Opts:
  end: 0, nop: 0, basic security: 0, loose source route: 0
  timestamp: 0, record route: 0
  strict source route: 0, alert: 0,
  other: 0
Errors:
  Bad checksum: 0, packet too small: 0, bad version: 0,
  Bad header length: 0, bad packet length: 0, bad destination: 0,
  Bad ttl: 0, could not forward: 990, no buffer dropped: 0,
  Bad encapsulation: 2, no route: 0, non-existent protocol: 0
  Stateful Restart Recovery: 0
  MBUF pull up fail: 0
Fragmentation/reassembly:
  Fragments received: 0, fragments sent: 0, fragments created: 0,
  Fragments dropped: 0, packets with DF: 0, packets reassembled: 0,
  Fragments timed out: 0

ICMP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission:
  Redirect: 2, unreachable: 0, echo request: 0, echo reply: 0,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0
Reception:
  Redirect: 2, unreachable: 22048, echo request: 0, echo reply: 0,
```

■ show ip traffic

```
Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,  
Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,  
Timestamp response: 0, time exceeded: 0,  
Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0,  
Format error: 0, checksum error: 0
```

```
Statistics last reset: never
```

```
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip process	IP プロセスに関する情報を表示します。

show mac-list

MAC リスト内のエントリを表示するには、**show mac-list** コマンドを使用します。

show mac-list [*name*]

構文の説明

<i>name</i>	(任意) MAC リスト名。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
-------------	--

コマンドデフォルト

match の値は定義されません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには LAN Enterprise ライセンスが必要です。

例

次に、Red MAC リストに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show mac-list Red
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac-list	MAC リストを作成します。
match mac-list	MAC リスト内の MAC アドレスを照合します。

show routing

ルーティング情報を表示するには、**show routing** コマンドを使用します。

show routing [**ip** | **ipv4**] [*address* | *hostname* | *prefix* | *route-type* | **clients** | **hidden-nh** | **interface** *type number* | **next-hop** *addr* | **recursive-next-hop** [*addr*]] [**vrf** *vrf-name*]

構文の説明

ip	(任意) ネットワークのルーティング情報を表示します。
ipv4	(任意) IPv4 ネットワークのルーティング情報を表示します。
<i>address</i>	(任意) IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は <i>x.x.x.x</i> です。
<i>hostname</i>	ホスト名。 <i>name</i> には、大文字と小文字が区別される最大 80 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
<i>prefix</i>	(任意) IPv4 プレフィクス。IPv4 プレフィクスの形式は、 <i>x.x.x.x/length</i> です。
<i>route-type</i>	(任意) ルート タイプ。 ? を使用してタイプのリストを表示します。
clients	(任意) すべてのルーティングクライアントを表示します。
hidden-nh	(任意) 非表示になっているネクストホップ情報を表示します。
interface <i>type number</i>	(任意) インターフェイスのルートを表示します。 interface には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> mgmt : 管理インターフェイス。デフォルトの管理インターフェイスは 0 です。 vlan : VLAN インターフェイス。VLAN インターフェイス番号は 1 ~ 4094 です。
next-hop <i>addr</i>	(任意) このネクストホップアドレスのあるルートを表示します。形式は <i>x.x.x.x</i> です。
recursive next-hop <i>addr</i>	(任意) この再帰ネクストホップアドレスのあるルートを表示します。形式は <i>x.x.x.x</i> です。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。VRF には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <i>vrf-name</i> : VRF 名。 <i>name</i> には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。 all : すべての VRF を指定します。 default : デフォルト VRF を指定します。 management : 管理 VRF を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ルート テーブルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip routing
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip route	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show routing memory estimate

ルーティング メモリ要件の見積もりを表示するには、**show routing memory estimate** コマンドを使用します。

show routing memory estimate [*routes num-routes next-hops num-hop-addresses*]

構文の説明

routes	(任意) ルート数のユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) メモリ推定値を指定します。
num-routes	ルート数。範囲は 1000 ~ 1,000,000 です。
next-hops	(任意) ルートごとのネクスト ホップ数のユニキャスト RIB メモリ推定値を指定します。
num-hop-addresses	ルート当たりのネクストホップアドレス数。範囲は 1 ~ 16 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show routing memory estimate コマンドは、選択されたルート数とルート当たりのネクストホップアドレス数に必要なメモリを見積もるために使用します。

例

次に、ルート テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show routing memory estimate routes 1000 next-hops 1
Shared memory estimates:
  Current max      32 MB; 27495 routes with 16 nhs
    in-use         1 MB;   11 routes with 1 nhs (average)
  Configured max   32 MB; 27495 routes with 16 nhs
  Estimate         0 MB;  1000 routes with 1 nhs
```


show routing-context

すべての EXEC コマンドの VRF 範囲を表示するには、**show routing-context** コマンドを使用します。

show routing-context

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在のルーティング コンテキストを表示する例を示します。

```
switch%management# show routing-context  
Current Route Context: default
```

関連コマンド

コマンド	説明
routing-context vrf	ルーティング コンテキストを設定します。

show routing hash

特定の送信元および宛先アドレス用に選択されたルートを表示するには、**show routing hash** コマンドを使用します。

```
show routing hash source-addr dest-addr [source-port dest-port] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>source-addr</i>	送信元 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。
<i>dest-addr</i>	宛先 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。
<i>source-port</i>	(任意) 送信元ポート。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>dest-port</i>	(任意) 宛先元ポート。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、10.0.0.5 から 30.0.0.2 に到達するために選択したルートを表示する例を示します。

```
switch# show routing hash 10.0.0.5 30.0.0.2
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip route	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show running-config arp

実行コンフィギュレーションのアドレス解決プロトコル（ARP）の設定を表示するには、**show running-config arp** コマンドを使用します。

show running-config arp [all]

構文の説明

all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ARP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show running-config arp

!Command: show running-config arp
!Time: Mon Aug 23 07:33:15 2010

version 5.0(2)N1(1)
ip arp timeout 2100
ip arp event-history errors size medium

interface Vlan10
  ip arp 192.0.11.37 00C0.4F00.0000

switch#
```

次に、デフォルト情報の ARP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show running-config arp all

!Command: show running-config arp all
!Time: Mon Aug 23 07:33:52 2010

version 5.0(2)N1(1)
ip arp timeout 1500
ip arp event-history cli size small
ip arp event-history snmp size small
ip arp event-history client-errors size small
ip arp event-history client-event size small
ip arp event-history lcache-errors size small
ip arp event-history lcache size small
ip arp event-history errors size small
ip arp event-history ha size small
ip arp event-history event size small
ip arp event-history packet size small
```

■ show running-config arp

```

interface Vlan10
  ip arp 192.0.11.37 00C0.4F00.0000
  ip arp gratuitous update
  ip arp gratuitous request

switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーします。
ip arp timeout	ARP タイムアウトを設定します。
show startup-config arp	ARP のスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

show running-config eigrp

IPv4 ネットワークの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config eigrp** コマンドを使用します。

show running-config eigrp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config eigrp

!Command: show running-config eigrp
!Time: Mon Feb 28 05:47:18 2011

version 5.0(3)N1(1)
feature eigrp

router eigrp Test1
  autonomous-system 65535
  default-metric 500000 30 200 1 1500
  redistribute direct route-map SVI-EIGRP

interface port-channel2000
  ip router eigrp Test1

interface port-channel2001
  ip router eigrp Test1

interface Ethernet1/26
  ip router eigrp Test1

interface Ethernet2/5
  ip router eigrp Test1

interface Ethernet2/6
  ip router eigrp Test1
```

■ show running-config eigrp

```
interface Ethernet2/7
  ip router eigrp Test1

interface Ethernet3/11
  ip router eigrp Test1

interface Ethernet3/12
  ip router eigrp Test1

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
router ospf	OSPF インスタンスを作成します。

show running-config ospf

IPv4 ネットワークの Open Shortest Path First version 2 (OSPFv2) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config ospf** コマンドを使用します。

show running-config ospf

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、OSPF の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config ospf

!Command: show running-config ospf
!Time: Tue Apr 15 09:09:15 2008

version 5.0(3)N1(1)
feature ospf

router ospf 201
  router-id 192.0.2.1
  default-information originate route-map DefaultRouteFilter
  area 0.0.0.10 virtual-link 192.0.2.3
    authentication message-digest
    authentication-key 3 15e76ee89406ccbf
    message-digest-key 21 md5 3 15e76ee89406ccbf
    dead-interval 50
    hello-interval 25
    retransmit-interval 50
    transmit-delay 2
  redistribute bgp 1 route-map FilterExtBGP
  redistribute maximum-prefix 1000 75 warning-only
  area 0.0.0.10 authentication
  area 0.0.0.10 default-cost 25
  area 0.0.0.10 filter-list route-map FilterLSAs in
  log-adjacency-changes
  maximum-paths 3
  default-metric 25
```

■ show running-config ospf

```
interface Ethernet1/5
  ip ospf authentication key-chain Test1
  ip ospf authentication-key 3 15e76ee89406ccbf
  ip ospf message-digest-key 21 md5 3 15e76ee89406ccbf
  ip ospf cost 25
  ip ospf dead-interval 50
  ip ospf hello-interval 25
  ip ospf passive-interface
  ip ospf priority 25
  ip ospf mtu-ignore
  ip router ospf 201 area 0.0.0.15

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
router ospf	OSPF インスタンスを作成します。

show sockets client

ソケットクライアントに関する情報を表示するには、**show sockets client** コマンドを使用します。

show sockets client [pid id] [raw | tcp | udp] [detail]

構文の説明	pid id	(任意) 特定のプロセスのソケットクライアント情報を表示します。id の範囲は 1 ~ 65535 です。
	raw	(任意) 未加工クライアントに関する情報を表示します。
	tcp	(任意) TCP クライアントに関する情報を表示します。
	udp	(任意) UDP クライアントに関する情報を表示します。
	detail	(任意) 詳細クライアントに関する情報を表示します。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、UDP ソケットクライアント情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets client udp

Total number of UDP clients: 9

client: syslogd, pid: 4367, sockets: 2

client: ntpd, pid: 4602, sockets: 3

client: ntp, pid: 4591, sockets: 2

client: radiusd, pid: 4586, sockets: 2

client: dhcp_snoop, pid: 5260, sockets: 1

client: pim, pid: 5296, sockets: 1

client: mcecm, pid: 5265, sockets: 1

client: snmpd, pid: 4609, sockets: 2

client: hsrp_engine, pid: 9588, sockets: 2

Statistics: Cancels 12777, Cancel-unblocks 11257, Cancel-misses 0
           Select-drops 1520, Select-wakes 11257,
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear sockets statistics	ソケット統計情報をクリアします。
show sockets connection	ソケット接続に関する情報を表示します。
show sockets statistics	ソケット統計情報を表示します。

show sockets connection

ソケット接続に関する情報を表示するには、**show sockets connection** コマンドを使用します。

show sockets connection [*pid id*] [*local address* | *foreign address* | *raw* | *tcp* | *udp*] [*detail*]

構文の説明

pid id	(任意) 特定のプロセスのソケット クライアント情報を表示します。 <i>id</i> の範囲は 1 ~ 65535 です。
local address	(任意) ローカルアドレスが指定されたすべての TCP 接続に関する情報を表示します。 <i>address</i> には IPv4 アドレスを指定できます。
foreign address	(任意) 外部アドレスが指定されたすべての TCP 接続に関する情報を表示します。 <i>address</i> には IPv4 アドレスを指定できます。
raw	(任意) 未加工クライアントに関する情報を表示します。
tcp	(任意) TCP クライアントに関する情報を表示します。
udp	(任意) UDP クライアントに関する情報を表示します。
detail	(任意) 詳細クライアントに関する情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、TCP ソケット接続情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets connection tcp

Total number of tcp sockets: 4
Active connections (including servers)
Protocol State/      Recv-Q/   Local Address(port) /
      Context      Send-Q   Remote Address(port)
tcp6    LISTEN        0         * (22)
      Wildcard    0         * (*)

tcp6    LISTEN        0         * (23)
      Wildcard    0         * (*)

tcp     LISTEN        0         * (161)
      Wildcard    0         * (*)

tcp     ESTABLISHED  0         172.29.231.33 (23)
      management  4         72.163.177.151 (1559)

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear sockets statistics	ソケット統計情報をクリアします。
show sockets client	ソケット クライアントに関する情報を表示します。
show sockets statistics	ソケット統計情報を表示します。

show sockets statistics

ソケット統計情報を表示するには、**show sockets statistics** コマンドを使用します。

show sockets statistics [all | raw | rawsum | tcp | tcpsum | udp | udpsum]

構文の説明

all	(任意) すべてのソケット統計情報を表示します。
raw	(任意) 未加工 IPv4 プロトコル ソケット統計情報を表示します。
rawsum	(任意) 未加工 IPv4 プロトコル ソケット統計情報のサマリーを表示します。
tcp	(任意) TCP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
tcpsum	(任意) TCP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報のサマリーを表示します。
udp	(任意) UDP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
udpsum	(任意) UDP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報のサマリーを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、TCP ソケット統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets statistics tcp
TCP v4 Received:
  11622 packets total
  0 checksum error, 0 bad offset, 0 too short, 0 MD5 error
  8782 packets (33566 bytes) in sequence
  0 duplicate packets (0 bytes)
  0 partially dup packets (0 bytes)
  0 out-of-order packets (0 bytes)
  0 packets (0 bytes) with data after window
  0 packets after close
  0 window probe packets, 0 window update packets
  2 duplicate ack packets, 0 ack packets with unsent data
  9349 ack packets (890960 bytes)
TCP v4 Sent:
  9543 total, 0 urgent packets
  3 control packets
  9492 data packets (890955 bytes)
  0 data packets (0 bytes) retransmitted
  48 ack only packets
  0 window probe packets, 0 window update packets
TCP v4:
  0 connections initiated, 6 connections accepted, 6 connections established
  6 connections closed (including 2 dropped, 0 embryonic dropped)
  0 total rxmt timeout, 0 connections dropped in rxmt timeout
  0 keepalive timeout, 0 keepalive probe, 0 connections dropped in keepalive
```

■ show sockets statistics

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear sockets statistics	ソケット統計情報をクリアします。
show sockets client	ソケットクライアントに関する情報を表示します。
show sockets connection	ソケット接続に関する情報を表示します。

show startup-config arp

スタートアップ コンフィギュレーションのアドレス解決プロトコル (ARP) の設定を表示するには、**show startup-config arp** コマンドを使用します。

show startup-config arp [all]

構文の説明	all	(任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。
コマンドデフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ARP スタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config arp

!Command: show running-config arp
!Time: Mon Aug 23 07:33:15 2010

version 5.0(2)N1(1)
ip arp timeout 2100
ip arp event-history errors size medium

interface Vlan10
  ip arp 192.0.1.37 00C0.4F00.0000

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーします。
	ip arp timeout	ARP タイムアウトを設定します。
	show running-config arp	ARP の実行コンフィギュレーションを表示します。

show track

オブジェクト トラッキングに関する情報を表示するには、**show track** コマンドを使用します。

show track [*object-id*] [**interface** | **ip route**] [**brief**]

構文の説明

<i>object-id</i>	(任意) トラッキング ID。範囲は 1 ~ 500 です。
interface	(任意) 追跡対象インターフェイスに関する情報を表示します。
ip route	(任意) 追跡対象 IP ルートに関する情報を表示します。
brief	(任意) 追跡対象オブジェクトに関する簡単な情報を表示します。

コマンドデフォルト

すべての追跡対象オブジェクトに関する情報を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、追跡対象インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show track interface
```

次に、追跡対象 IP ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show track ip route
```

次に、追跡対象オブジェクトに関する簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch# show track brief
```

関連コマンド

コマンド	説明
track interface	インターフェイスのステータスを追跡します。
track ip route	IP ルートのステータスを追跡します。

show vrrp

Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP; 仮想ルータ冗長プロトコル) に関する情報を表示するには、**show vrrp** コマンドを使用します。

```
show vrrp [detail | statistics | summary] [interface if-number] [vr id] [backup | init | master]
```

構文の説明

detail	(任意) VRRP に関する詳細情報を表示します。
statistics	(任意) VRRP 統計情報を表示します。
summary	(任意) VRRP サマリーを表示します。
interface <i>if-number</i>	(任意) インターフェイス上の VRRP に関する情報を表示します。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>vr id</i>	(任意) グループの VRRP に関する情報を表示します。id の範囲は 1 ~ 255 です。
backup	(任意) バックアップ ステートの VRRP グループに関する情報を表示します。
init	(任意) 初期ステートの VRRP グループに関する情報を表示します。
master	(任意) マスター ステートの VRRP グループに関する情報を表示します。

コマンドデフォルト

すべての VRRP グループに関する情報を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VRRP に関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vrrp
      Interface VR IpVersion Pri   Time Pre State   VR IP addr
-----
      Ethernet1/5  1  IPV4    200 200 s  Y   Init   192.0.1.10

switch(config)#
```

次に、VRRP に関する詳細な設定情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vrrp detail

Ethernet1/5 - Group 1 (IPV4)
  State is Init(Administratively down)
  Virtual IP address is 192.0.1.10
  Priority 200, Configured 200
  Forwarding threshold(for VPC), lower: 1 upper: 200
  Advertisement interval 200
  Preemption enabled
  Virtual MAC address is 0000.5e00.0101
```

■ show vrrp

```
Master router is Unknown
```

```
switch(config)#
```

次に、特定の仮想ルータに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show vrrp vr 1
      Interface VR IpVersion Pri   Time Pre State   VR IP addr
-----
      Ethernet1/5  1  IPV4   200 200 s Y   Init   192.0.1.10
switch#
```

表 13-6 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13-6 show vrrp フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	VRRP が設定されるインターフェイス。
VR	仮想ルータの ID。
IPVersion	インターフェイスの IP アドレス。
Pri	仮想ルータのプライオリティの範囲。
Time	LSA の内容全体のチェックサム
Pre	仮想ルータのプリエンブションの状態。
State	VRRP グループの状態。State には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Init • Backup • Master
VR IP addr	VRRP グループの仮想 IPv4 アドレス。

関連コマンド

コマンド	説明
clear vrrp	VRRP 統計情報をクリアします。
feature vrrp	VRRP 機能をイネーブルにします。